

(5) 日野市



■ 市の概要 ～東京でありながら、なんとなくホッとするまち～

東京都のほぼ中心部に位置し、多摩川と浅川の清流に恵まれ、湧水を含む台地と緑豊かな丘陵をもっています。

人口は微増傾向が続いており、令和12年(2030年)をピークに減少に転じる見込みですが、令和42年(2060年)には平成27年(2015年)と比較して約99%と現在と同水準の人口が維持できると見込まれています。

「新選組のふるさと」でもある日野市は、副長・土方歳三や六番隊隊長・井上源三郎が生まれ育ったほか、彼らの活動を支えた名主の佐藤彦五郎の屋敷(日野宿本陣)が残っています。

■ 交通 ～人口当たりの駅数トップクラス～

JR中央線、京王線、多摩モノレールで延べ12駅(10拠点)を有し、新宿までは中央線又は京王線で約30分。

また、国道20号、甲州街道、川崎街道が通り、電車でも車でも好アクセスであり、通勤・通学も便利です。



■ 企業支援 ～次世代のイノベーションを創造するまち～

日野市は「工業のまち」として発展してきた歴史を持ち、東京都でも有数の製造品出荷額を誇るとともに、高い技術力を持つ企業が多数立地し、イノベーションの拠点として多摩平の森産業連携センター「PlanT」を設置しています。市内に工場や事業所等の新設・拡張した場合に固定資産税・都市計画税相当額をキャッシュバックする制度(奨励金)などにより、企業立地・企業誘致を進めています。

また、中小企業向けの支援制度として、「事業拡大支援事業補助金」、「販路開拓支援事業補助金」、「魅力ある個店づくり支援事業補助金」、「中小企業事業資金融資あっせん制度」など、多くの支援メニューを用意しています。

■ 企業立地支援制度



■ PlanT



■ 融資・補助金



■ 住環境・子育て環境 ～子育ての未来は、多摩川の先に。～

日野市は好アクセスかつ広い住まいを検討しやすいエリアとして、子育て世帯に注目を集めている街のひとつです。これからの子育てに必要な自然、社会体験の機会、ICTや子どもたちが主体的に学ぶ授業など、子どもたちがより良い人生を歩むための環境が整っています。また、すべての公立小学校が自校調理方式の給食となっており、日野産農産物を積極的に活用しています。農業体験として農家の方と児童が「顔を合わす関係」をつくることで、食育だけでなく、生き物や生産者への感謝の気持ちも育める機会を設けている点も日野市ならでは。

また、JR中央線日野駅、豊田駅、京王線・多摩モノレール高幡不動駅の3駅周辺に商業拠点があり、市内に均等に存在しているため、日常の買い物、飲食店利用も楽々です。



育つを育てる街



■ 観光 ～誠の心が息吹くまち～

幕末、土方歳三ら、後に新選組の隊士となる面々が集った日野。都内で唯一残る江戸時代に建てられた本陣建物「日野宿本陣」や、古くから関東三大不動の一つに挙げられる高幡不動尊、多摩動物公園など、多くの見どころがあります。



■ 日野市シティセールスサイト



■ 日野市観光協会

